

**製品名: BRCA1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81228**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	207.7kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BRCA1
別名	IRIS; PSCP; BRCAI; BRCC1; PNCA4; RNF53; BROVCA1; PPP1R53
遺伝子 ID	672.0
SwissProt ID	P38398
免疫原	大腸菌で発現したヒト BRCA1 (AA: 229-335) の精製された組み換え断片。

**背景**

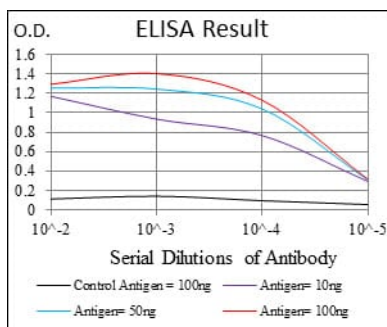
この遺伝子は、ゲノム安定性の維持に役割を果たす核リン酸化タンパク質をコードし、腫瘍抑制因子としても機能します。コードされたタンパク質は、他の腫瘍抑制因子、DNA 損傷センサー、シグナル伝達因子と結合して、BRCA1 関連ゲノム監視複合体 (BASC)

として知られる大きな多サブユニットタンパク質複合体を形成します。この遺伝子産物は RNA ポリメラーゼ II と結合し、C 末端ドメインを介してヒストン脱アセチル化酵素複合体とも相互作用します。したがって、このタンパク質は転写、二本鎖切断の DNA 修復、および組換えにおいて役割を果たします。この遺伝子の変異は、遺伝性乳がんの約 40%、遺伝性乳がんおよび卵巣がんの 80% 以上の原因となっています。選択的スプライシングは、この遺伝子の細胞内局在と生理学的機能の調節に役割を果たしています。この遺伝子には、疾患関連変異を含む多くの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されているが、これらのバリエーションの全長が報告されているのはごく一部である。17 番染色体上に位置する関連する偽遺伝子が同定されている。

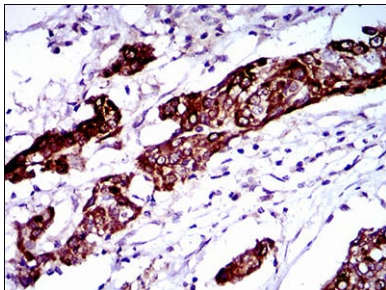
## 研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路

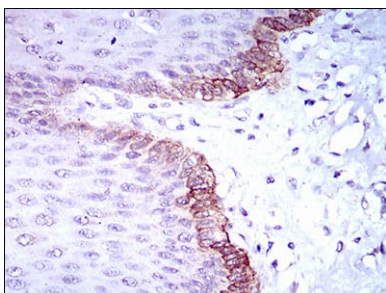
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



DAB 染色による BRCA1 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による BRCA1 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。